

令和7年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	59	学校名(課程)	伊那弥生ヶ丘高等学校(全日制)
------	----	---------	-----------------

1 全体目標

○ 望ましい職業観・勤労観を身につけるとともに、自己の個性を理解し主体的に進路を選択する能力・態度を育てる。

2 現状・課題

【現状】学年全体としての取り組みのほかに、キャリア教育の核となる取り組みとして夏季休業を利用したオープンキャンパス、もしくは就業体験への参加を義務付け、積極的に呼びかけ展開している。

【課題】自己のあり方、生き方を深く考えるために、探究的学びを教科やそれ以外の教育活動でいかに展開していくかが課題である。

3 つけたい力

- a 自己のあり方、適性、生き方を考え、主体的に将来設計に取り組める力(自己理解力、人間関係形成力、キャリアプランニング力)
- b 卒業後の進路を選択し、それを実現できる力(コミュニケーション力、課題探究力、キャリア・デザイン力)
- c 社会的・職業的自立に必要な基礎的な力(自己管理能力、コミュニケーション力)

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉え、生徒にも自覚させる。 イ 3年間の教育活動のつながりを職員全体が意識し、系統的な指導を行う。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 就業体験や進路講演会等の機会においては、事前・事後指導の充実により、身についた力を確認する。(②③)
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 年度末に教員と生徒自身の評価を行い、次年度の取り組みや指導に生かす。 オ 社会や世界の多様な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。(①)
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 知識の習得を基礎に思考力・判断力・表現力等の育成にも力を入れ、言語活動の充実をはかる。学んでいることと社会とのつながりを意識させる。(②④) キ 家庭や地域社会、産業界の協力も得て就業体験・ボランティア体験等を行う。(②③)

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・思考力・判断力・表現力を育成するため、意見交換や課題の発見・解決、プレゼンテーション等の参加型・協働型の活動を導入する。 ・内容を身近な物事、他教科や他分野と関連づけ、授業進度上可能な範囲で扱う。
総合的な探究の時間	・教科の枠を超え学校全体で関わり、地域と連携した学びの場として、主体的に課題解決に取り組む姿勢を育てる。論理的思考・表現の方法を学ぶ。〈1年〉、課題探究〈2年〉、進路探究〈3年〉 ・生活実態調査を実施し、生徒の学習習慣の把握と改善に生かす。
特別活動	・自主的・主体的姿勢を育むため、生徒会活動、学校行事等との関連を重視する。〈1、2、3年〉 ・科目選択、進路の研究と選択
校外の体験活動(就業体験活動等)	・就業体験(希望者)〈1、2、3年の間に〉 ・ボランティア活動、オープンキャンパス(希望者)〈1、2、3年生の間に〉
地域や産業界等との連携	・総合的な探究の時間〈1、2年〉 ・県内大学との連携(アカデミックチャレンジ) ・就業体験
評価	・生徒・教員アンケートや面接等で生徒の意識変化とキャリア教育の取り組みを評価し、次年度の取り組みに反映させる。 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用 ・キャリアポートフォリオの研究
中学校との連携(指導の継続性)	・入学時に、高校入学までのキャリア形成の振り返り
校内の推進体制	・探究教育推進委員会 ・全教職員で推進し、特に学年担任団はキャリア教育推進委員会と緊密に連携
キャリア・パスポートの取組	・定期的なポートフォリオの蓄積(考査、行事、学期ごと) ・学期末、学年末の振り返り

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己理解を深め、職業を知る ○進路研究をする ○探究的な学びの方法を知る	○自己を生かす道を探り、社会での 自己の生き方・あり方を考える ○働くことについて考える ○進路選択をする	○将来の目標・志望を明確にする ○就きたい職業を考える ○進路実現を目指す
主 な 取 組	○進路研究と2年次科目選択 ○就業体験 ○個人での探究活動	○就業体験(事前準備・まとめを含む) ○進路実現に向け自らの課題の明確化 と課題克服の実践	○進路実現までの目標設定と計画及び課題の明確化 ○クラブ・学校行事への取り組みをまとめ、進路実現 に生かす
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員アンケート	・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員アンケート	・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4 学習状況調査 教科学習法指導 学習オリエンテーション 7	憲法学習、進路希望調査 就業体験の計画・事前打ち合わせ 探究的な学び方の学習 FW 計画立案・準備・グループワークから 地域⇒日本⇒世界について学び自己と 結びつける	生徒規律強化指導 クラスマッチ 文化祭 全校読書 科目選択に向けた指導	生徒面談 家庭学習習慣定着指導 生活実態調査 大学授業見学会(希望者) 三者面談
	夏休み 8 学習状況調査		家庭、親子での学問探究	就業体験 オープンキャンパス参加 ボランティア活動(希望者)
	9 保健「青年期の理解」 12	職業・学問・学部調べ アカデミックチャレンジ 多くの出会いから発露した課題を探り、 問いを立てる 生活実態調査	生活規律強化指導 クラスマッチ、音楽会、強歩大会 進路見学会 人権平和学習 2年次選択科目説明会、決定	就業体験・OCレポート作成 大学授業見学会(希望者) 生徒面談 進路希望調査 三者面談
	1 3 春休み	2 学年の課題探究発表会への参加	百人一首大会	生徒意識調査(県教委) 就業体験(希望者) 就業体験レポート作成
2 年	4 学習状況調査 家庭「生活設計」 7	4 ・生活実態調査 ・個人探究学習開始 5 ・F・W 計画立案・準備・個人探究 6 ・憲法学習、 7 ↓	生活規律強化指導 クラスマッチ 文化祭 全校読書	生徒面談 大学授業見学会(希望者) 三者面談
	夏休み 8 学習状況調査	夏休み ・F・W 開始 8 ・学習実態調査 ・F・W 報告会		就業体験 オープンキャンパス参加 ボランティア活動(希望者)
	9 国語「小論文・レポートの書き方」 12	9 ・個人探究を深める 10 11 ・課題探究中間報告 ・修学旅行準備学習 12 ・修学旅行・事後学習	人権平和学習 3年次選択科目説明会、決定 修学旅行	就業体験・OCレポート作成 大学授業見学会(希望者) 生徒面談 三者面談
	1 3 春休み	1 ・個人探究・発表準備 2 ・課題探究の発表 3 ・学習実態調査	百人一首大会 進路講演会	生徒意識調査(県教委) 就業体験(希望者) 就業体験レポート作成
3 年	4 5 6 進路探究(～11月) 7	憲法学習、進路希望調査 進路希望調査	生活規律強化指導 進路講演会 クラスマッチ、文化祭 全校読書	生徒面談 大学授業見学会(希望者) 事業所視察(就職希望者) 三者面談
	夏休み 8 進学補習講座			就業体験 オープンキャンパス参加 ボランティア活動(希望者)
	9 進学放課後補習 共通テスト対策補習 12	小論文・志望理由書の書き方や面接練 習により論理的思考力や表現力を高め る 進路希望に応じた進路探究	人権平和学習	大学授業見学会(希望者) 生徒面談 三者面談 生徒意識調査(県教委)
	1 3			教員アンケート、進路状況まと め、3年間の評価